

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市南吉成児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 21,265人 (前年度比 95.1%) 平成30年度 22,347人 平成29年度 21,437人 平成28年度 18,257人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 35,496千円 (31,548千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、当番活動として、朝の会や昼の会で高学年の子がリーダーとなって生活や遊びの内容などを話し合う機会を設けている。また、高学年児童が考えた遊びで低学年児童と一緒に遊ぶ「ふれあいタイム」を設け、「布ドッジ」などの集団遊びを通して異学年が交流する機会を設けるなど、創意工夫を凝らしながら、児童が遊びや生活を通して、主体性や社会性を身につける取り組みを進めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>子育て支援クラブを中心に地域の方がとても協力的で積極的に児童館の行事に関わり、託児ボランティアは乳幼児の行事に欠かせない役割を果たしています。子育て支援クラブが企画して行った「カフェラテアート教室」では、ふだんは乳幼児保護者の参加が難しかったものの、託児があることで安心して行事に参加でき、大変好評でした。子育て支援クラブと若い世代の保護者が交流を図ることで、子育ての不安の解消に貢献しています。また、子育て支援クラブへの参加を声掛けし、新たなメンバーを募り、活動の活性化を図ろうとしています。負担感なく続けていけるように配慮していくことにも心掛けてきました。</p> <p>幼児クラブ『なかよし会』の活動に七夕、運動会、ハロウィン、クリスマスなど季節に即した内容や運動、食育、創作活動をバランスよく取り入れ、魅力ある活動ができました。さらに、保護者がスムーズに運営に参加できるようにグループサロンの運営についても細かなサポートを工夫し、親同士の交流も図れるようになりました。</p> <p>児童クラブでは当番活動に取り組み、朝の会や昼の会を通して、遊びを順番に考えるなど話し合いの機会を設けながら上学年の意識を育てています。また、ふれあいタイムを設定し、布ドッジやハンカチ落とし、ソフトバレーなど、上学年と下学年が交流し仲間意識がもてる遊びを提供し、児童クラブの「みんながたのしく」の目標の実現に向けて取り組んでいます。</p> <p>地域交流推進事業では、行事の一つに、社会福祉協議会と共催で年2回「ふれあい茶話会♡みんななかよし」を実施しています。子どもたちと地域の年配者とのふれあいを目的に今年度はけん玉遊びやクリスマスリース作りをしました。その他、年2回の運営委員会を実施し、児童館の役割を地域の方々に理解いただいています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業として、今年度は、乳幼児親子向け行事を一覧で掲載したパンフレットを作成したり、「キッズフェスタ」と称した乳幼児事業のPRのための行事を5月に開始している。他にも、ホームページの閲覧を進めるために宣伝グッズを制作し、遊びに来た親子に渡して仲間を増やす工夫をするなど独自の広報活動に力を入れてきており、その結果、利用者が増えて保護者同士の交流が盛んになっている点が評価できる。</p> <p>幼児クラブや自由参加の行事を定期的で開催しており、親子が一緒に楽しめるプログラムや物作り等を通して母親がリフレッシュできるプログラム、子育てについて専門家に相談する場等、多様なプログラムを提供している。また、母親がまっと一息つける場として、子育て支援クラブによる託児付きの「0ちゃんタイム」などを開催しており、保護者に寄り添った環境づくりに努めている。</p> <p>児童健全育成事業では、小学生の「みんなであそぼう」の企画を年6回取り組み、「昔遊び」や「すずめ踊り」、「お店屋ごっこ」など各学年が楽しんで取り組めるように企画内容を工夫しており、工作や運動遊びなど様々な遊びの場を通して、体験の幅を広げている。</p> <p>地域交流推進事業では、「権現森自然研究会」の協力のもと「自然観察ハイキング」を開催し、自然体験を通して豊かな感受性を育むなど、地域諸団体と連携し、地域の特色を活かした多様な行事を提供しており、児童館が地域と子どもをつなぐ役割を果たしている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課